

## 1 二部会 研究主題

タブレット端末の効果的な活用はどうあるべきか

## 2 本校の主題

授業外におけるタブレット端末活用法の探求

## 3 主題設定の理由

## (1) 現状

本校（富里市）で使用するタブレット端末情報は以下のとおりである。

- ・メーカー：Lenovo
- ・メモリ：4GB
- ・CPU：Intel Celeron N4020
- ・クラウド：まなびポケット、スカイメニュー

タブレット端末のスペックを表すPass Mark（ベンチマーク）は1820である。一般的に2000を下回ると、簡単な文書作成やネットサーフィンはできるが基本的に動作は重いとされている。また、富里市で契約する「まなびポケット」「スカイメニュー」のクラウドでできることは非常に少なく、授業内で活用することが難しい。実際に活用してみたが、更新プログラムの関係で起動することができなかつたり、ネット環境につながらなかつたりと思うように使うことができなかった。

## (2) 方針

上記を踏まえ、授業内ではなく、委員会活動や係活動等の特別活動での活用法を模索することとした。アルファベットの理解やタイピング能力など、基本的な操作方法や活動時間の確保を考えると、全学年での実施は難しいことから、本年度は6年生を中心に行うこととした。

## 4 活動内容

## (1) 6年児童の発案

6年生に特別活動でタブレットを活用し、できることはないかと投げかけると、以下のような案があがってきた。

- ・図書委員会の読み聞かせ動画
- ・掃除の仕方解説動画
- ・掲示委員会が作成する掲示物の案を募集
- ・委員会活動紹介スライド（本校は委員会活動見学なし）
- ・一人一鉢で育てている花の育て方紹介
- ・放送委員会の活動の様子を配信（現在放送機器が故障中のため、1階にしか出力できないため）
- ・提出物チェックのデジタル化（係活動）

## (2) 指導内容

児童の案には動画撮影やポスター作成が多く見られた。動画撮影後はトリミングをしたり字幕を入れたりする関係上、Microsoft PowerPoint（以下 PowerPoint）を使った編集が有効だと考えた。また、ポスター作成については、Microsoft Word もしくは PowerPoint を活用すれば作成可能だが、児童の端末から直接印刷することはできない。多少の不都合はあるものの、できる限り自力で作成させるため、次のような指導を行なった。

### ○PowerPoint について

PowerPoint の操作について、これまでの生活経験からある程度認知している児童が多かったが、タブレット端末が導入されて以降、具体的な指導を行なったことはなかった。前述したような動画編集作業はより高度な知識が必要となるため、職員が解説スライドを作成し、指導した。（資料1）

### ○アンケートについて

オンラインでアンケートをとるために Microsoft Forms を活用させることとした。ブラウザで検索させ、項目を作成する程度のため、特段の指導は行なっていない。

## (3) 途中経過確認

全校に向けて配付したり同時に試聴したりするため、Microsoft Teams（以下 Teams）を活用する必要がある。昨年度までに一部の授業では活用していたため、ある程度の機能を認知している児童が多く、ファイルのアップロード等にも抵抗はなかった。そこで、チーム内に「相談用」のチャンネルを作成し、完成途中の作品を添付させることで、教師が適宜進捗状況や改善点を確認しながら進めた。

## 5 配付ならびに配信（資料3）

Forms で作成したアンケートは教師が最終確認後、Teams の全校共通チームに投稿させ、休み時間等を活用し他学年児童に回答させた。また、ポスターについては、Teams でファイルを教師と共有し、教師用のタブレットから印刷して掲示した。

動画を含む PowerPoint で作成したスライドの配信については、毎月一度、火曜日の朝学習の時間を委員会からのお知らせタイムとし、全校同時に視聴する形式をとった。（放送委員会の配信については、給食中の放送を視聴した。）

## 6 成果と課題

### ○成果

- ・児童の考えを取り入れながら行なったことで、主体的に活動することができていた。また、教師の想像を超える活用法を見いだすことができた。
- ・6年生の活動の様子を見て、5年生からも活動案があがり、学級内で掲示物を作成する活動に発展した。

### ●課題

- ・本校には、タブレットの具体的な使用時間や Teams 活用上のルールが設定されていない。そのため、今回の実践においてもいくつかの不都合があった。具体的なルール設定については、富里市の中学校区での生徒指導会議でも話題にあがり、本校のみならず、中学校区で共通のルールを話し合いの上決定していく必要がある。

（資料4『タブレット使用の約束』※昨年度の提案を参考に作成し、活用に向けて検討中。）

- ・特に Teams 活用上のルール設定においては、まず職員の知識が求められるが、児童が作成したものを Teams の会議で共有することやアンケートへのアクセス方法等、不慣れな様子が見てとれた。まず、職員が ICT 機器に慣れ、活用できるようにすることが急務である。
- ・教科指導以外での活用を考えると、実践できる学年が限られてきてしまう。また、単純なアンケート記入でもある程度のタイピングスキルが必要とされる。このことを考えると、本校の情報教育の全体計画見直しを図り、学年ごとに具体的な目標を設定する必要がある。
- ・特別活動での活用は、児童主体の活動となる。そのため、どうしても時間を要するものが多く、それを確保することが難しい。

## 7 児童の成果物（別紙 資料2 参照）